

## アジア・太平洋論文コンテストにて 3名の日本人学生が入賞

[マニラ 2007年2月14日] アジア・太平洋地域の持続的開発についての学生論文コンテストで、3名の日本人学生が入賞者に選ばれました。

18—29歳でアジア・太平洋地域出身の大学生・院生を対象とした論文コンテストで、石井てる美さん、岩本あき子さん、木場萌（こばめぐみ）さんは、他の14カ国・地域出身の22名の学生とともに入賞しました。

この論文コンテストは、日本政府が出資しているADBの日本特別基金の支援を受け、ADBと、開発に関心を持つ大学生のネットワークであるROADが後援しており、5月6-7日に京都で行われる第40回ADB年次総会に先立つイベントの一環です。

すべての入賞者は、3月17日に京都で行われる持続的開発についてのユースフォーラムを頂点とする一週間の行事に招待されています。このフォーラムで入賞者は開発について議論することになります。

入賞者は以下の通りです。

- Thinley Choden (ブータン) University of Hawaii at Manoa, 28歳
- Chanprathna Leng (カンボジア) 国際大学, 27歳
- Heng Dyna (カンボジア) 名古屋大学, 24歳
- Rotha Chan (カンボジア) 国際大学, 26歳
- Li Xing (中国) China Agricultural University, 19歳
- Shana Khan (フィジー) Victoria University of Wellington, New Zealand, 27歳
- Kavindra Nand (フィジー) The University of the South Pacific, 23歳
- Leung Yih-Terng (香港) University of Hong Kong, 22歳
- Sreya Bagchi (インド) Randolph-Macon Women's College, Lynchburg, VA, US, 18歳
- Ramnath Kalyani (インド) National Law School of India University
- Jawahar Shah (インド) TERI University, 21歳
- Syaiful Afifi (インドネシア) Brawijaya University Malang, 23歳
- Terumi Ishii (日本) 東京大学, 23歳
- Akiko Iwamoto (日本) 学習院大学, 22歳
- Megumi Koba (日本) 鹿児島国際大学, 22歳
- Elvira Bobekova (キルギス) The University of Auckland, New Zealand, 29歳
- Bayarikhamb Byambaa (モンゴル) 国際教養大学, 19歳
- Tin Yadana Moe (ミャンマー) Yangon Institute of Economics, 23歳
- Muniba Mahmud (パキスタン) Institute of Business Administration, 21歳
- Saba Majeed (パキスタン) Institute of Business Administration, 23歳
- Carl Renan Estrellan (フィリピン) 東京工業大学, 28歳

### Media Inquiries Only

Sachiko Sakamaki  
Tel: +81 3 3504 3160  
Email: ssakamaki@adb.org

### Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: [media.adb.org](http://media.adb.org)  
ADB web site: [www.adb.org](http://www.adb.org)

- Ritchie-Anne Guzman (フィリピン) Ateneo de Manila University, 26歳
- Charybel Magbuo (フィリピン) De la Salle University, 20歳
- Fundow Jerasakanon (タイ) 立命館アジア太平洋大学, 21歳
- Le Hoang Anh Thu (ベトナム) 立命館アジア太平洋大学, 25歳

3名の独立審査委員がそれぞれ、アジア太平洋論文コンテストに提出された 600 以上の論文を審査しました。

審査委員は、インド・ニューデリーにある **Development Alternatives** の Ashok Khosla 氏、インドネシア・ジャカルタの国連ミレニアムアジア太平洋開発目標特別大使の Erna Witoelar 氏、そして審査委員長は吉田恒明東京大学教授です。

学生の論文は、経済成長と環境保全、人的資源開発と制度構築、産業とインフラの何れか 1 つのテーマについて、自分の国または地域の視点から取り上げています。

論文は思考の独自性・創造性、議論の構造とまとめ、作者の置かれた環境と現実の中での持続的成長への認識、そしてテーマへの関連性に基づいて審査されました。(学生の論文はそれぞれ個人の見解を表明しており、必ずしも ADB の公式見解を反映したものではありません。)

ADB のビンドゥー・ロハニ地域協力・持続的開発局長は以下のように述べています。「この論文コンテストは、何百人もの学生がアジア・太平洋地域が直面している公的政策についての意見を述べる機会を提供しました。京都での来るユースフォーラムは、入賞者が開発の優先順位について話し合い、地域の環境、経済、社会の問題が若者の活発な参画によってより効果的に取り扱われるためのすばらしい機会を提供することでしょう」

フォーラムでは持続的開発について学生がまとめた声明を「若者の声」として採択して終了します。また、入賞した論文は本にまとめられ出版されます。

ADB は、マニラに本部を置き、貧困層に配慮した持続的経済成長、社会発展、良き統治を通じて、アジア・太平洋地域の貧困を削減するために活動しています。1966 年に設立され、域内 48 カ国を含む 67 カ国が加盟しています。2006 年には、総額 85 億ドルの貸付・無償援助と、約 2.4 億ドルの技術援助を承認しました。

---

#### Media Inquiries Only

Sachiko Sakamaki  
Tel: +81 3 3504 3160  
Email: [ssakamaki@adb.org](mailto:ssakamaki@adb.org)

#### Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: [media.adb.org](http://media.adb.org)  
ADB web site: [www.adb.org](http://www.adb.org)

【参考】

## 1. ROAD について

- ・ 概要: アジア地域における開発問題に関心をもつ関西と関東の学生により構成される団体であり、アジア太平洋ユース・フォーラムに関する企画を行っている。
- ・ 代表: 堀切 寛 (東京大学工学部 4 年)、副代表: 西村 雅行 (大阪大学経済学部 3 年)、久保 裕一 (立命館大学産業社会学部 3 年)、加藤 史彬 (東京大学農学部 4 年)

## 2. 入選者の地域・国別人数

地域等		国	
日本	3	日本	3
東アジア	3	中国	1
		香港	1
		モンゴル	1
東南アジア	10	カンボジア	3
		フィリピン	3
		インドネシア	1
		ミャンマー	1
		タイ	1
		ベトナム	1
南アジア	4	インド	3
		ブータン	1
中央・西アジア	3	パキスタン	2
		キルギス	1
太平洋	2	フィジー	2

## 3. 日本人及び日本留学生入選者のプロフィール(敬称略)

所属	氏名	国籍	論文テーマ
東京大学	石井 てる美	日本	成長と環境保全
学習院大学	岩本 あき子	日本	成長と環境保全
鹿児島国際大学	木場 萌	日本	人材開発と制度
国際大学	Chanprathna Leng	カンボジア	成長と環境保全
国際大学	Rotha Chan	カンボジア	人材開発と制度
名古屋大学	Heng Dyna	カンボジア	産業とインフラ
国際教養大学	Bayarlkham Byambaa	モンゴル	成長と環境保全
東京工業大学	Carl Renan Estrellan	フィリピン	成長と環境保全
立命館アジア太平洋大学	Fundow Jerasakanon	タイ	成長と環境保全
立命館アジア太平洋大学	Le Hoang Anh Thu	ベトナム	人材開発と制度

以上

Media Inquiries Only

Sachiko Sakamaki  
Tel: +81 3 3504 3160  
Email: ssakamaki@adb.org

Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: media.adb.org  
ADB web site: www.adb.org